

会 議 録 (会議経過含む)

会 議 の 名 称	平成２４年度第４回由利地域協議会
開 催 日 時	平成２５年２月７日（木）　午後１時３０分～
開 催 場 所	善隣館　「市民ホール」
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「名簿」のとおり
会 議 次 第	
１．開　　会　　　午後１時３０分～　　　　　　　（進行：熊谷振興課長） ２．会長あいさつ （佐藤千秋会長） 3年連続の豪雪で皆さんお疲れのところと思います。特に今年は新年早々火災が発生したり、雪に関する事故によりケガをされた方、或いは亡くなられた方もいて、事故の多い年のように思われます。今年度はそのような事故を教訓にし、お互いに注意しながら生活していければと思います。火災にあった方、亡くなられた方におくやみ申し上げましてあいさつに代えさせていただきます。 ３．会長報告 資料－１により、各種会議への出席状況について説明。　　　（佐藤千秋会長） ４．行政報告 資料－２により、２月４日までの由利地域の行事等を報告。（由利総合支所　三浦支所長） 資料－３により、１．国療跡地利活用検討委員会の検討状況について ２．次期総合計画について ３．国民文化祭について 総合政策課より説明。（総合政策課長　原田　正雄） （Ａ委員） 例えば今まで国療の問題を先送りして来たという話がありましたけれども、先送りというのは問題提起であって問題解決しないままなのが先送りなんじゃないでしょうか。何もしていないというのは先送りでは無いのではないのでしょうか。平成２７年２月に市に譲渡と書いていますが、できれば詳しく旧本荘市に譲渡と書いてもらえないのでしょうか。検討委員会の基本方針ありきで立ち上げたのではないですか。何もない状態から用途変更などを含めて検討委員会を進めて欲しいです。先日の市長とのふれあいトークでも言いましたが、なぜ跡地の土地を元値の半分のお金を出して買わなければならないのですか。 （原田総合政策課長） 由利地域協議会委員の意見として承ります。これから検討委員会、またパブリックコメントで寄せられたご意見をホームページで公表して参りますのでご理解をお願いしたいと思います。 （Ｂ委員） 今日基本方針を伺って多方面に考えて下さっているのだと分かりました。私は今水辺プラザにいるのですが１０８号線から色々なところから寄ってくださる方がいて、よく県外から来た方から「由利本	

荘市の良いところはどこですか」、「由利本荘市の名物はなんですか」と聞かれます。私は「由利原や花立に行ってみて下さい」と答えますけれども、「これだ!」という物が無いと話しております。あれだけの広大な土地に由利本荘市の拠点となる物を建てるのですから、石脇地区だけでなく由利本荘市全体を考えた物を計画の中に入れていただきたいと思います。由利本荘市は農業を中心に栄えてきたと思います。もちろん海も近いですから漁業もあります。そういうところも含めて由利本荘はこういう所なのだというのが一目で分かるような、感じられるところが欲しいと思います。ですから今若い人たちの雇用の問題もありますから、その施設を利用して農業や漁業の雇用を創出するような施設であってもいいと思います。例えば「お花のパーク」や「野菜のパーク」という所があって、植物を育てる若者や技術を伝えることのできる高齢者などを配置して、若者と高齢者が一緒に働くことのできる場があってもいいと思います。スポーツや防災が契約の中に記載されていて守らなければいけないということはもちろんわかっていますが、莫大なお金を使用するわけですから柔軟に由利本荘市全体のことを考えていただければと思います。若者が由利本荘市に帰ってきて大学等で学んだことを活かせるような場所にしていいただければと思います。

(原田総合政策課長)

柔軟にというご意見をしっかり承りたいと思います。今後の検討委員会でB委員のような意見もあったと委員会の方に報告させていただきます。ありがとうございました。

(C委員)

過疎債と合併特例債が5年間延長になったことですが、当初平成26年度で終わりとされていたので市の主要計画の時期も変わってさまざまな事業も見直しをかけていくと思います。ぜひ、地域のことを考えた予算の執行、過疎債、合併特例債の活用をしていただけるようお願いしたいと思います。

(原田総合政策課長)

貴重なご意見として承りたいと思います。また資料に記載していますとおり、地域の意見とはその地域の総合支所を中心に取りまとめ、総合発展計画の掲載をすることになっておりますので市全体の発展に繋がるような事業等をこれから取りまとめていくことになっておりますので色々なアイデアを出して頂ければと思います。よろしくお願いします。

(D委員)

合併する際に、由利本荘市でスポーツのできる大きな施設として総合体育館を大内に建設したと聞いておりましたが大内の総合体育館があるにも関わらず、また大きな体育館を石脇に建てることを計画するというのは大内の体育館を建てる際にも、もう少し検討した方が良かったのではないかと思います。

(原田総合政策課長)

新市街づくり計画というのは一市七町がそれぞれ前にあった事業を持ち寄って10年間、平成26年度までの総合発展計画が策定されました。各一市七町の市、町時代にあった事業が10年間の計画に反映されています。大内の体育館につきましては大内町が平成19年の国体で柔剣道大会を開催することから柔剣道専門の体育館が必要だということであの場所に体育館を建てる計画でした。名前は総合体育館ですが、国体開催を視野に入れて大内町時代の計画をそのまま行なったということです。

総合体育館とこれから建てる多目的アリーナは、スポーツをするという点においては一緒ですが、ある程度規模を差別化するという方向で検討委員会の方でも話し合われています。

(D委員)

つまり大内にできている体育館は、合併前に大内町が主体となって建てたという解釈でよろしいですか。

(原田総合政策課長)

名前は総合体育館で由利本荘市になってから建てたものなので、総合体育館ということは間違いありません。ただ大内町時代に計画されたものを由利本荘市に合併して19年国体を見越して建設されたということです。

(D 委員)

それから美倉町にも新しい体育館を建てるという話を聞きましたが。

(原田総合政策課長)

現在消防署が移転する場所に体育館がありますが、この体育館も耐震度が足りず補強もできないです。なので中心市街地にほぼ同規模の体育館を建てる予定です。現在美倉町にある体育館と学校の体育館を除くと本荘地区で利用できる体育館がほぼ皆無の状況です。美倉町に体育館を建てても現状維持ということになります。先ほど言っていた国療跡地に建てるアリーナというのは市全体の不足している分を補完するという意味合いでも建てられる計画です。

結論から申し上げますとどちらの体育館も現在市に必要なものだという判断ですのでご理解願いたいと思います。

(C 委員)

ただいまの時間は行政報告でこれからの進め方についての協議ではないのでお願いしたいことを言ったり方針などの説明でいいと思います。本荘の区画整理や文化施設、あるいは今やろうとしている国療跡地施設の建設などを見ていて、なぜ本荘にばかり予算を使うのか、地域にはあまり資本投下されていないように感じているのが地域住民の意見だと思います。なので国療跡地の施設も含めて、地域住民の声を十分に吸い上げて計画してもらいたいと思います

(A 委員)

過疎債や合併特例債を使って雪捨て場を買うのもいいと思います。しかし国療跡地に建物を建てるにあたって、今まで跡地に捨てていた雪はどうするつもりでしょうか。

(原田総合政策課長)

雪捨て場につきまして、あそこが雪捨て場になる前は二十六木の河川敷などが雪捨て場だったこともあります。毎年広大な土地を建設部のほうで選定して指定しています。新たな雪捨て場は建設部で検討することになります。

(D 委員)

国療跡地利活用の基本方針が決まっているようですけれどもこの事業をするためにどれくらいの財源を確保しているのですか。ただ計画をたてただけで裏付けのある財源の確保ができていないのではないのですか。もしあるとしたらどれくらいの財源を確保しているか教えていただきたいです。

(原田総合政策課長)

基本計画の段階で概算工事費を計算する場合もありますが、まず始めに規模を決めてその後に基本計画に入って最後に実施という三段階で計画が実行されます。先ほども言いましたが、平成27年度以降の次期計画というのが、様々な新しい事業を財政との規律を保ちながら計画してございます。国療跡地の事業につきましても次期総合計画にも掲載する候補になるということです。全体の財政計画の中でどれだけの財源を確保できるかが決まるので、一つの事業にいくら予算をつけるのかというのは、まだ基本計画段階ですので申しあげることはできないということでご理解お願いしたいと思います。

(A 委員)

新聞には60億円かかると書かれていたがその金額はどこからでてきたのですか。

(原田総合政策課長)

それは検討委員会を立ち上げて基本計画を決める前に昨年2月、こちらの地域協議会でも示さしてもらいましたが、検討委員会とは別のプロジェクトチームが出した素案の中での概算金額が60億円というのが新聞に載ったということです。それを今改めて各会の方々と検討しているところです。

5. 協議

資料－4「平成25年度地域づくり推進事業について」山田主査より説明

(E 委員)

一番の青少年の「健全育成・美化活動」の推進事業の事業内容の中にプランターの作成と書いてありますが今までは既製品のプラスチックのプランターを使っていた事例が多かったと認識しています。手を加えなければ作成という言葉は使えないと思います。

（山田主査）

言葉遣いがわかりづらくなってしまい申しわけありません。これは通常のプラスチックのプランターに子ども会の名前と一緒に開催する社会福祉協議会の名前を入れたプランターを作成するということです。

（E委員）

それでは単に購入して配布するということに過ぎないのではないのですか。こういう機会があるのであれば、私はしっかりと手の加えた暖かみのある物を作成したほうがいいと思います。

（山田主査）

事業内容につきましては別紙の方にもう少し詳しい内容が書かれておりますので、ご理解をお願いします。

資料－５により「２５年度予算要求の由利地域主要事業について」説明 （各課課長より説明）

（C委員）

産業課に質問ですが、ここ最近私有林の管理委託料が毎年計上されていたのですが今年は予算計上されていないようです。今年の分は無いということですか。

（三浦茂参事）

林業の森林整備ですけども、今まで森林施業計画で計上していました。今度からは森林経営計画に変わります。森林経営計画になりますと市一本になりますので載せませんでした。

（C委員）

青少年旅行村の施設の運営事業の中で前年度と比べて多く予算要求していて内訳をみますとオートキャンプ場を除いて、やまゆりあるいはスターハウス、旅行村の管理施設全てが増額しているようですがどういった中身を増額しているのか教えていただきたいです。

また由利高原ふれあい農場の運営費について伺います。今年の予算計上が昨年度と比べると増額されているようです。また昨年は行政施設の修繕費が６００万円ほどあります。増額内容について説明をお願いします。

（三浦茂参事）

最初に旅行村の予算の増額についてですが、旅行村施設そのものが古くなってきて施設の見直しのための増額となっております。農場の予算の増額ですけども現在状況をみて農場を指定管理に移行しようとしています。昨年の行政施設の修繕費の用途は農場の機械等を見ると古い物が目立っていたので、その修繕でした。それが去年でほぼ完了いたしましたので今年は挙げておりませんでした。やはり農具や施設はどうしても目に付く所なので、それを更新したと思っていただければと思います。

（A委員）

現在、旧鮎川小学校の管理人がいると思いますが、その経費と仕事の内容を教えてください。それとコスモスまつりに今年行きましたがコスモスがあまり咲いていないような状況でした。コスモスまつりの予算はどれくらいあるのでしょうか。それとゆりの里交流センターで北海道の天然鉱石が使われているようですがそろそろ使用期限で交換する次期なのではないのでしょうか。それと自転車置き場の移設とありますが、「自転車置き場の移設ほか」と付けて具体的な説明をしていただければより分かりやすいと思います。また、緑地公園の管理が５,０８５千円と書いてありますが内訳を教えてください。

（熊谷振興課長）

旧鮎川小学校の管理につきましては町村の荘司賢一さんをお願いしています。業務内容は窓の開閉、外周の草刈り等お願いしています。予算は年額３９６千円としております。

（三浦茂参事）

コスモスまつりの件ですけれども、昨年は開催時期が早く、また天候に恵まれず開花期間自体が非常に短くなっています。ある程度見所の時期を選んで開催したのですが昨年はあのような状況になってしまいました。申しわけありませんでした。また由利高原まつりについてですが、毎年8月に歌手を呼んで行われています。由利高原まつりにつきましては由利本荘市観光協会の由利支部が主体となっていて行っています。それとゆりえもんの鉱石につきましては定期的に石を交換しています。

（三浦総合支所長）

先ほどのコスモスまつりの件につきまして補足させていただきます。コスモスまつりと由利高原まつりは観光協会由利支部主催の事業でございます。毎年歌手の経費として250万円ほど予算をおいています。コスモスまつりにつきましては手元に資料がないため詳しい金額はお答えできませんが、約30万円の予算がついていたと思います。その整備についてはやまゆりの後ろにあるゆりの畑とコスモスの整備と一緒に予算をおいています。

（伊藤教育学習課長）

自転車置き場の移設につきまして既存の施設を解体して、新しい場所に建設する経費でございます。緑地公園の予算につきましては、管理人の賃金につきまして136万円、消耗品、水道料、施設の修繕が約96万円、建物の共済と浄化槽の地震保険が約10万円あります。また浄化槽の管理委託料として約51万円、その他備品で約18万円あります。

（C委員）

ゆり保育園の運営事業の事業概要の中で計算しますと、ここに掲載されていない金額があるのですがこれについて説明をお願いしたいと思います。それから道路の維持事業としての予算が昨年に比べますと増額されていますがその内容を教えていただきたいです。それから冬期間の交通の確保の予算について、過去の予算と比べると増額していますがこれは豪雪を予想した予算要求だと思いますがどのような内容のものなのか説明して頂けるとありがたいです。最後に総合支所長にお願いしますが、主要事業の総予算が昨年と比べますと、4月の暴風の分は考えないとしても今年は増額されています。予算要求はしたものの、かなり厳しい査定がされると予想されますができれば満額いただければと思います。

（木内市民福祉課長）

保育園のその他についてですが、大きなものについて消耗品が200万円ほどあります。その他に修繕料等がありましてそれが120万円ほどあります。あとは委託料としまして消防設備の点検等がありまして140万円ほど、また燃料費として170万円、光熱費が300万円ほどございます。他に備品として石油ストーブについて380万円ほどございました。そのようなものがその他という形で書かれていましたのでご理解をお願いしたいと思います。

（庄司建設課長）

道路整備事業ということですが、昨年市長が由利地域の要望はどのようなものがあるのか知りたいということで、その時に全て挙げました。昨年11月の地域協議会でお知らせしました道路関係の集落要望について全て予算計上にあげましたので増額しています。実際この金額で予算がもらえるかもらえないかはまだわかりません。ただ由利からはそれくらいの要望があるという意味も込めて予算要求しました。除雪費のことですけれども、ここ3年間連続で豪雪が続いています。平成22年と23年の平均決算から逆算しまして、今年の予算要求をしました。例年通りいけばこんなにはつかないで、足りない分は補正でまかなっていくような形になると思います。

（三浦総合支所長）

由利地域では毎年9月まで各集落から要望事項をだしてもらいます。その要望事項について検討を加えて市政懇談会で回答をしたりしています。たまたま去年の9月に市長から各総合支所に各地域の市民からどういうふうな要望がきているのかまとめて知らせたいという話がありまして、由利地域では毎年まとめている集落要望を市長、副市長に知らせました。去年そのようなことがあったので

今年の予算要求はかなり膨らんでいます。3月の議会では骨格予算を決めるのですが、そこでは政策的な内容についての予算は必要最小限に削られると思います。その後に5月上旬に臨時議会が開かれると聞いております。その時に肉付け予算の予算要求をすることになると思います。今後、今の骨格予算で落とされたものが支所の方に報告されます。その中でもどうしても予算をつけて欲しいと支所で判断したものについては再度5月の臨時議会に向けて予算要求していくという段取りになっております。なので今年は少し特殊な年だということをご理解いただければと思います。

(E委員)

河川環境整備費についてですが準用河川洲浚いとありますが、準用河川とはどのような河川なのか説明していただきたいです。

(庄司建設課長)

準用河川というのは市が河川法で定める河川です。市が定めた前郷内にある河川は古川等があります。その他の一般の水路については普通河川という扱いになります。

6. その他

(三浦総合支所長)

本日は第4回の地域協議会ということで大変有意義な話し合いができたと思います。次回の地域協議会は来年度に予算の査定の話、確定した予算の話を行うと思います。今年度は最後の協議会になります。定年退職者が由利総合支所に何人かいます、木内市民福祉課長、伊藤教育学習課長、振興課にいる熊谷潤二、ふれあい農場の渡部完治、この4人でございます。ふれあい農場は由利本荘市の基幹農場になっております。今後、鳥海町と東由利の牧場が閉鎖になります。二つの牧場に預託しているものを全てふれあい農場に持ってくるような協議を現在しております。そのためにはやはり今までふれあい農場にいた渡部完治さんにつきましては、一度定年退職してから再び臨時職員、もしくは再任用という形をとりたいと思っており、本人にもお願いしております。平成26年度から指定管理にしようとしておりますけども、概要等決まりましたらこのような場で報告したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

皆様お忙しいと思いますが由利地域のために今後ともご提言いただけますことをお願いしまして終わりのあいさつとさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

7. 閉会

終了 午後3時

	別紙のとおり
--	--------

◆出席者名

会 長	佐 藤 千 秋	企画調整部総合政策課長	原 田 正 雄
副会長	徳 山 洋 一	企画調整部総合政策課課長補佐	柴 田 浩 樹
委 員	佐 藤 文 夫	由利総合支所長	三 浦 貞 一
委 員	相 田 勝 弘	振興課長	熊 谷 善 弘
委 員	佐 藤 俊 弘	市民福祉課長	木 内 幸 一
委 員	高 橋 朗	産業課参事兼課長補佐	三 浦 茂
委 員	佐 藤 イ ネ 子	建設課長	庄 司 昭 一
委 員	木 内 進	教育学習課長	伊 藤 康 勝
委 員	木 内 芳 一	振興課参事	佐 藤 繁 俊
委 員	工 藤 健 一	振興課主査	山 田 雄
委 員	二 見 美 代 子	振興課主事	石 川 晋 平
委 員	高 橋 昭		